

令和2年5月6日

保護者の皆様
生徒の皆さん

福井県立高志高等学校
校長 吉田 繁
福井県立高志中学校
校長 山内 悟

学校再開延期とオンライン授業（学習）の実施について

1 はじめに

4月28日(火)の杉本知事の会見以降、新聞やテレビ等での報道でもご存じのとおり、5月7日(木)以降も、当面の間臨時休校を継続することとなりました。

生徒の皆さんには、3月以来長期にわたる自宅学習をお願いしてきたところですが、「緊急事態宣言」発令後は、外出自粛や営業自粛の要請等、保護者の皆様におかれても、お仕事や生活に影響を受けていらっしゃるご家庭も多いのではないかと存じます。待ち望んでいた学校の再開がさらに延期されることとなり、生徒の皆さん、保護者の皆様の心中は、いかばかりかと推察いたします。

このたび、国の「緊急事態宣言」が約1ヵ月延長され、当面、我慢の日々が続くこととなってしまいましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまで、ご家庭との連携のもと、生徒の皆さんの「学びの継続」を全力で支援していきたいと考えています。

5月7日(木)の高校入学式、中学1年登校日、5月8日(金)の分散型登校等については、ホームページ等でお知らせしたとおりですが、5月11日(月)以降の対応について、学校としての基本的な方針をお伝えし、あわせてオンライン授業の実施等について、お願いをさせていただきます。

なお、以下にお書きすることは、学校としての、現時点での対応の方向性です。

今後、分散型登校日等に生徒の皆さんから希望を聞いたり、保護者の皆様からご意見やご要望等をお聞きしたりしながら、学校再開後の授業も視野に入れて、生徒の皆さんの主体的な学習を支援する方法について検討を続けていきたいと思っていますので、何卒、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

2 休業期間中の基本的な対応方針

休業期間中の基本的な対応方針は、以下のとおりです。

○臨時休校期間は、オンライン授業と分散型登校（学習状況の確認や個別面談等）を組み合わせて、在宅での学習を支援します。

※分散型登校の計画については、別途、学年会から連絡があります。

○オンライン授業は、動画の視聴と学習課題の組み合わせが基本になりますが、学年、教科・科目により、様々なバリエーションが考えられます。

○オンライン授業は、実施可能な教科・科目から始め、だんだんと増やしていきます。

○学習の過程で生じた質問には、分散型登校日の質問タイム、電話やメール、インターネットを活用した解説等に対応します。

○生徒の皆さんの取組状況を総合的に評価した上で、学校再開後に、当該単元を授業で扱わない場合があります。

3 私用端末を活用したオンライン授業（学習）について

オンライン授業を実施するにあたっては、生徒の皆さん、ご家庭が所有しているパソコン、タブレット、スマホ等、私用端末の活用をお願いします。

そのほか、以下の点について、ご理解とご協力をお願いします。

○オンライン学習にかかる通信料のご負担をお願いします。

○この機会に、できる範囲で結構ですので、ご家庭でのインターネット常時接続（有線、Wi-Fi）等、ご家庭におけるICT環境の整備をお願いします。

※このことについては、別途、願いの文書を配付（配信）します。

○兄弟姉妹がいるご家庭等、使用できる端末の台数が限られる場合は、家族間で時間を分けて使用していただくなど、ご工夫をお願いします。

なお、現在、家庭でインターネット環境がない生徒の皆さんについては、一定の期間、緊急避難的に以下の方法で家庭学習を支援いたします。

○学校が所有しているパソコン、タブレット等の生徒学習用端末と、学習動画、学習課題を保存したUSBを貸与します。

上記に加えて、ポケットWi-Fiルーターを貸与することも検討します。

4 オンライン授業（学習）について

（１）動画を視聴するプラットフォーム

高校生に関しては、すでに利用している「Classi」（ベネッセ）で、動画の配信・視聴が可能です。また、「駿台サテネット」（駿台予備学校）が提供する動画を視聴できるようにします。

また、中学校・高校のすべての生徒に、「Google for Education」（Google classroom など Google 社が提供する各種アプリを無料で利用できるサービス）を利用するための Google アカウントを発行します。

※ 1年生には5月7日（木）、2・3年生には5月8日（金）に発行します。

動画等を活用したオンライン授業は、「Classi」、「Google classroom」を通じて行うことになる予定です。

（２）動画の視聴方法、ライブ授業の実施

基本的には、生徒の皆さんが指定された動画（教員による手作り動画、Classi や駿台サテネットの動画、外部の YouTube 動画等）を視聴するとともに、指示された課題（必須課題、選択課題、自由課題等）に取り組むという形式をとります。

生徒の皆さんが、各自のスケジュールに合わせて視聴する方式で、同一の動画を繰り返し見ること可能です。

また、Google meet 等ビデオ会議アプリを活用したライブ形式の授業やSH・HRの実施については、各ご家庭でのインターネット環境の状況を見て、実施可能な授業やクラスから実施することといたします。

（３）学習状況の確認および質問対応について

教科によって、学習の記録を残してもらったり、レポート等の学習課題を定期的に提出してもらったりして、学習状況や学習到達度を把握する予定です。

新型コロナの感染が落ち着きを見せるなど状況が好転すれば、分散登校日に確認のための小テスト等を行うことによって学習到達度をみることも、検討します。

なお、動画や学習課題に関する質問等がある場合には、分散型登校日に質問タイムを設けたり、電話やメールでの質問に応じたりします。

5 生活リズムの確立について

学校再開が延期された4月以降、生徒の皆さんには、所属するクラスや時間割をお知らせして、時間割に沿った計画的・継続的な家庭学習をお願いしてきました。

5月以降、オンライン授業が実施されることで、パソコンやスマホを学習に活用する生活が始まります。これまで以上に、規則的な生活習慣、自律的な学習習慣が求められるようになります。生徒の皆さんのいっそうの努力、保護者の皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い致します。